

活動主題 「日本の民謡の魅力を味わい、特徴を生かして歌う」

活動の価値

日本の民謡は、庶民の暮らしの中から生まれ、現在も地域の人によって伝承されてきた音楽である。土地それぞれの「労働作業から生まれた歌」や、「盆踊りなどの踊りを伴う歌」、「酒宴を楽しむための歌」、「正月や婚礼、新築の他、大漁や収穫を祝う歌」、「子どもを眠らせる時の歌や、子守の大変さを歌った歌」と、時代によって歌われる場面の変化や分類もさまざまである。「ソーラン節」は北海道の積丹半島で発祥した民謡で、ニシン漁の季節労働者たちが、つらい仕事を励まし合い作業をした仕事歌の民謡である。「ソーラン節」は曲の知名度から親しみやすく、また、「ソーラン節」と同じ仕事歌の「南部牛追唄」を比較することで、仕事の種類によつての民謡の速度や拍節の有無を捕らえていくことができる。「南部牛追唄」は岩手県の南部で、牛方が日没後に米や塩、木炭などを牛の背に載せ、荷物の運搬の時に歌われたのが起源である。踊りを伴う歌から「八木節」と「谷茶前」を取り上げる。「八木節」は群馬県や栃木県に江戸時代末期から伝わる民謡で、今でも樽でリズムを取り、笛の軽やかな旋律で盆踊りが踊られている。「谷茶前」は沖縄県に伝わる民謡で、谷茶前の浜の漁村風景を歌ったもので、男女が協力し合いながら生活する様子が楽しく描かれた曲である。独特の琉球の音階や、三味線の元となるヘビの皮が使われた三線の音色を味わうことができる。

本活動は、民謡の魅力について探究し、民謡の特徴を生かして表現する活動である。この活動を通して子どもは、民謡の特徴である声の音色やコブシ、囃子詞、リズム、間、和楽器の音色をとらえ、背景となる文化や歴史との関わりについて理解することができる。さらに、子どもたちがグループごとに学習した民謡を声に出し歌い、合の手やこぶしなどの民謡独特の発声を身に付けることができる。したがって、民謡の魅力を探究し続け、実際に民謡を歌うことにより、民謡にこめられた人々の願いや、人々と暮らしとの関わりや、民謡に対する自分の考えや、文化の伝承や発展について考えることができる大変意義深い活動である。

子どもの実態

本学級の子どもは、事前アンケートで民謡に対するイメージを問うと、〇%の子どもが「昔の音楽、おじいちゃんが歌う音楽、お年寄りのための音楽、暗い音楽、悲しい音楽」などと子どもたちの身近な音楽ではないとの回答が多くみられた。数名は「声の出し方が特徴的、ビブラートみたいなものがかかっている」と声に注目したイメージをもっていた。民謡で知っている曲を記述してもらったところ「ソーラン節」を〇%の子どもたちが知っており、その他は「黒田節」と書いた子どもが〇%だった。海外の民謡を記述する子どもは誰もいなかった。今の社会や自分の生活の中で民謡に触れる機会があるか尋ねたところ、〇%の子どもが「ない」と回答した。

以上のことから、本学級の子どもたちは、ビブラート等の西洋音楽の知識は積み重ねてきているが、民謡にあまり出会ってきていないことが分かる。そして、「ソーラン節」を知っているが、それ以外の民謡を知らない。また自分の生活の中に在る様々な民謡に気づいていないことがわかった。したがって、民謡の特徴や背景となる文化や歴史を探究し、郷土によって様々な音楽が残されていることや、民謡を自分の生活と近くに捉えることができるように援助していく必要がある。

活動の援助観

そこで本活動では、民謡の特徴と背景となる文化や歴史との関わりについて理解し、民謡の声の音色や発声を生かしながら歌い、民謡に親しんでいく態度を育むことができるようにすることをねらいとする。そのために、次のような援助を行う。

- ・民謡に関心を持つことができるように、座興歌の遊びを体験し、イメージを持つ場を設定する。
- ・民謡の音楽の特徴を探究することができるように、楽器や声の音色、速度、リズム、旋律の動きや音階などの調べる視点を確認する場を設定する。
- ・民謡の音楽の特徴と民謡の背景となる文化や歴史との関わりについて探究することができるように、それぞれの民謡の背景となる映像を確認する場を設定する。
- ・民謡の表現の工夫を行うことができるように、仕事や踊りのイメージを持ち、身体の使い方を生かされていることを視覚的に確認する場を設定する。
- ・民謡のよさや魅力に気づくことができるように、これまでの活動を振り返る場を設定する。

○ 子どもの学習目標

日本の民謡の魅力味わい、特徴を生かして歌うことができる。

○ 教師の援助目標

民謡の音楽の特徴と背景となる文化や歴史との関わりについて理解し、民謡の声の音色や発声を生かしながら歌い、民謡に親しんでいく態度を育むことができるようにする。

活動計画（6時間）

次	時	学習活動・内容	子どもの問いと思考	援助のねらい・内容・方法
一	1 ①	1 民謡を聴き、イメージを交流し学習課題を設定する。 (1) 「江戸子守歌」「草津節」「金毘羅船々」を聴き、イメージを交流する。 ・人とのコミュニケーション (2) 4つの民謡を聴き比べ、学習課題を設定する。 学習課題 日本の民謡の魅力味わい、特徴を生かして歌う。	民謡ってあまり身近な音楽ではないな。でも何で未だに歌い継がれているんだろう。 民謡って色んな種類があって、人とのコミュニケーションに欠かせないものだったんだな。もっと民謡について知りたいし、歌ってみたいな。	民謡に関心を持ち、見通しを持って学習に取り組むことができる。 ・民謡に関心を持つことができるように、座興歌の遊びを体験し、イメージを持つ場を設定する。 ・民謡の魅力について探究する見通しが持てるように、4曲の民謡を聴き比べて課題を設定する場を設ける。
	2 ②	2 民謡の音楽の特徴や背景となる文化や歴史について調べて比較し、民謡の特徴を文化や歴史と関連づけてまとめる。 (1) 民謡の音楽の特徴について調べ、他の民謡と比較する。 ・楽器や声の音色 ・速度 ・旋律の動き ・リズム ・音階 ・文化や歴史 (2) 民謡の音楽の特徴を音色や速度などを中心に文化や歴史と関連づけてまとめる。 ・仕事や踊りの動きと速度 ・楽器や声の音色と掛け声	民謡の音楽って独特だけど何か音楽に特徴があるのかな。また、どんな場面で民謡を歌っていたんだろう。 民謡はこぶしや、音階などが特徴的な音楽であり、人々の暮らしの中から生まれた音楽なんだな。	民謡の特徴と背景となる文化や歴史との関わりについて理解することができるようにする。 ・民謡の音楽の特徴を探究することができるように、楽器や声の音色、速度、リズム、旋律の動きや音階などの調べる視点を確認する場を設定する。 ・民謡の音楽の特徴と民謡の背景となる文化や歴史との関わりについて探究することができるように、それぞれの民謡の背景となる映像を確認する場を設定する。
三	3 ③	3 民謡の音楽的特徴を歌う。 (1) 音楽の特徴を捉える。 ・言葉の抑揚 ・コブシ ・言葉のアクセント ・間 ・産み字 ・身体表現 (2) 模範に合わせて歌う。 ・掛け声 ・囃子詞 (3) 民謡を歌い発表する。 4 民謡の音楽の役割などについて考え、本活動の振り返りを行う。 ・地声で歌うのは民謡の魅力 ・当時の人の生活が見える歌	自分でも民謡を表現してみたいけど、どうすれば民謡の特徴を表現できるかな。 民謡には歌い継がれる魅力がそれぞれの地域になるんだな。自分の国の民謡を誇りに思って大切にしたいな。	民謡の声の音色や発声を生かしながら歌い、民謡に親しんでいく態度を育むことができるようにする。 ・民謡の表現の工夫を行うことができるように、仕事や踊りのイメージを持ち、身体の使い方を生かされていることを視覚的に確認する場を設定する。 ・民謡のよさや魅力に気づくことができるように、これまでの活動を振り返る場を設定する。

本時
(1/2)

本時 公開授業 1 音楽室 第二次の1 (1/2)

本時の援助観

前時までに子どもは「江戸子守歌」「草津節」「金毘羅船々」の民謡を聴き、子守歌や仕事歌や座敷歌の民謡に対する自分なりのイメージを持ち、意見を交流することで、民謡に対するイメージを膨らませることができた。また、振り返り際には、他の民謡についての関心や歌うことに対しての意欲をもった。

そこで本時は、日本の民謡の音楽を形づくっている要素や、民謡の背景となる文化や歴史を理解することができるようにすることをねらいとする。そのために、グループで調べる4つの民謡をわけて、iPadを使い音源を聴いたり、民謡の特徴や歴史について調べたりする場を設定する。

主眼

日本の民謡の音楽的特徴とその背景となる文化や歴史を理解することができるようにする。

本時の過程

学習活動・内容	援助のねらい・内容・方法	形態	配時
<p>1 本時学習の方向性を確認する。</p> <p>(1) 前時を振り返り、学習課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 民謡の特徴と背景となる文化や歴史 <p>(2) めあてを設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 民謡の音楽的特徴と背景となる文化や歴史を探ろう。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 本時の見通しを持つことができるようにする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時の見通しを持つことができるように、前時の活動を振り返り、前時の子どもの気付きから本活動へつなげていくことができるようにする。 	一斉	10
<p>2 「ソーラン節」「南部牛追歌」「八木節」「谷茶前」の音楽の特徴や、背景となる文化や歴史について探究しレポートにまとめる。</p> <p>(1) 民謡の背景となる文化や歴史について探究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> どこの都道府県の民謡なのか いつ頃歌われ始めた民謡なのか どのような場面で歌われていた民謡なのか <p>(2) 民謡の音楽の特徴を探究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用されている楽器の音色 ・歌詞 声の音色(何人で歌っているか)や囃子詞 速度 ・旋律の動き ・リズムとなる拍 音階 <p>(3) 「ソーラン節」と「南部牛追歌」、「八木節」と「谷茶前」を比較しながら音楽の特徴を探究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 拍があるかないか ・速度の違い ・音階 楽器の違い ・歌う人数の違い 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 民謡の音楽的特徴と、民謡の背景となる文化や歴史について理解することができるようにする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 民謡の背景となる文化や歴史について探究することができるように、ICT機器や教科書や資料集などを参考に探究する場を設定する。 民謡の音楽的特徴について探究することができるように、民謡の音源をICT機器で何度も繰り返し聴ける場を設定する。また音楽的特徴を細かく項目分けをして、子どもが何を調べるのかが分かりやすいような学習プリントを用意する。 民謡の音楽的特徴をさらに探究することができるように、2曲の民謡を比較して、探究する場を設定する。 	個 / 小集団 / 一斉	30
<p>3 本時学習を振り返る。</p> <p>(1) 4曲の民謡を比較しながら一部を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事歌と踊り歌 <p>(2) 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ仕事歌でも仕事の内容によって曲の雰囲気は違っているんだな。 色んな土地の民謡で方言や歌うリズムや楽器などが違っているんだな。 全国に民謡ってどのくらいあるんだらう。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> さらに民謡への理解を深める意欲をもつことができるようにする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> さらに民謡への理解を深める意欲をもつことができるように、本時の学習を振り返る場を設定する。 	個 / 一斉	10

活動の評価

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・民謡の特徴と、その背景となる文化や歴史を理解することができる。 ・創意工夫を生かし、声の音色や発声、民謡の特徴のコブシや言葉のアクセントや囃子詞を生かして表現する技能を身に付け歌唱で表している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・民謡が生活や社会における音楽の意味や役割について、自分なりに考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・民謡に関心を持ち、自分なりの思いを持つことができる。 ・民謡のよさや魅力を味わいながら、我が国で受け継がれる民謡に親しもうとしている。

※ 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

次	時	学習活動	評価規準（観点：方法）	指導の個別化（手だて）
一	1 ①	<p>1 民謡を聴き、イメージを交流し学習課題を設定する。</p> <p>(1) 「江戸子守歌」「草津節」「金毘羅船々」を聴き、イメージを交流する。</p> <p>(2) 4つの民謡を聴き比べ、学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習課題</p> <p>日本の民謡の魅力を味わい、特徴を生かして歌う。</p> </div>	<p>民謡に関心を持ち、自分なりの思いを持つことができる。</p> <p>(態：ワークシート)</p>	<p>活動をする前と、座敷遊びを体験した後だと民謡に対するイメージはどのように変化したかを問う。</p> <p>4曲の民謡を聴き、何を学習していくと歌うことができるようになるのか問う。</p>
二	1 ②	<p>2 民謡の音楽の特徴や背景となる文化や歴史について調べて比較し、民謡の特徴を文化や歴史と関連づけてまとめる。</p> <p>(1) 民謡の音楽の特徴について調べ、他の民謡と比較する。</p> <p>(2) 民謡の特徴を音色や速度などを中心に文化や歴史と関連づけてまとめる。</p>	<p>民謡の特徴と、その背景となる文化や歴史を理解することができる。</p> <p>(知：ワークシート)</p>	<p>音楽を形づくっている要素に気づけるように、視点を「音色」だけに絞るとどのようにになっているか問う。また拍を確認できるようにICT 機器でメトロノームを使い規則性はあるか問う。</p>
三	1 ③	<p>3 民謡の音楽的特徴を歌う。</p> <p>(1) 民謡の特徴を捉える。</p> <p>(2) 模範に合わせて歌う。</p> <p>(3) 民謡を歌い発表する。</p>	<p>創意工夫を生かし、声の音色や発声、民謡の特徴のコブシや言葉のアクセントや囃子詞を生かして表現する技能を身に付け歌唱で表している。</p> <p>(知：実技テスト)</p>	<p>小集団の歌唱練習で、民謡の特徴に視点をあてて、模範の動画との違いを確認するように促す。</p>
		<p>4 民謡の音楽の役割などについて考え、本活動の振り返りを行う。</p>	<p>民謡が生活や社会における音楽の意味や役割について、自分なりに考えることができる。</p> <p>(思：ワークシート)</p> <p>民謡のよさや魅力を味わいながら、我が国で受け継がれる民謡に親しもうとしている。</p> <p>(態：ワークシート)</p>	<p>これまでの学習を振り返り民謡には魅力があるから現代にも歌い継がれていることを確認し、その魅力は何かあるのか問う。</p>